

# 高齢者の現状

## 1 急速に進行する高齢社会

日本は、他の先進国に例を見ない速度で高齢化が進み、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口（令和5年推計）」によると、令和7年における65歳以上の高齢者人口は3,652万9千人で、総人口に占める割合（高齢化率）は29.6%となっています。高齢者人口及び高齢化率は、平均寿命の伸長や低い出生率を反映して今後も上昇し続け、令和18年（2036年）には、高齢者人口は3,803万人、高齢化率は33%を超え、国民の3人に1人が65歳以上の高齢者という超高齢社会が到来すると見込まれています。

このような中、国勢調査による本市における高齢化率は、平成12年では18.3%、平成17年では22.2%、平成22年では26.5%、平成27年では31.8%、令和2年では34.6%となっており、令和7年4月1日現在の住民基本台帳では35.6%に達し、国の推計値を上回る状況となっています。

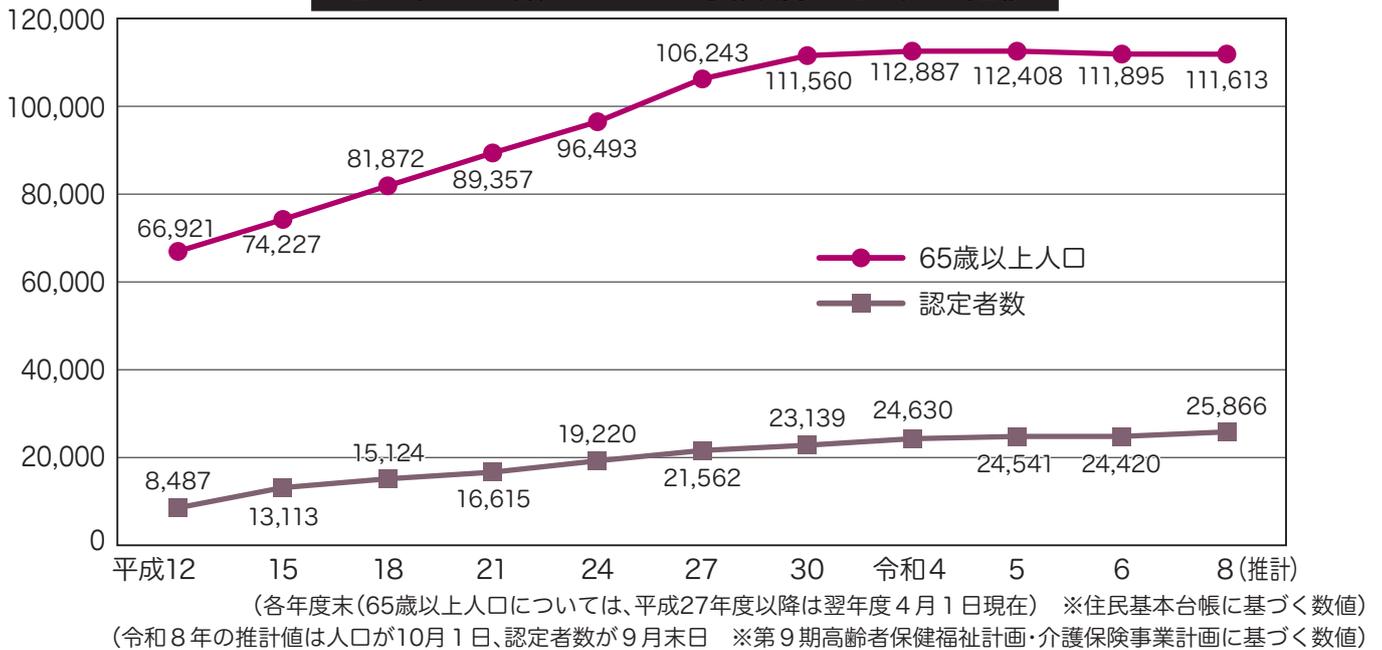
## 2 旭川市の高齢者人口と介護保険給付費の推移

旭川市の65歳以上人口と割合

	男性		女性		合計	
総人口	145,403人		168,698人		314,101人	
65歳以上	46,050人	31.7%	65,845人	39.0%	111,895人	35.6%
65～69歳	9,876人	6.8%	11,416人	6.8%	21,292人	6.8%
70～74歳	11,395人	7.8%	13,998人	8.3%	25,393人	8.1%
75～79歳	10,897人	7.5%	14,609人	8.7%	25,506人	8.1%
80～84歳	7,184人	4.9%	11,397人	6.8%	18,581人	5.9%
85～89歳	4,358人	3.0%	7,812人	4.6%	12,170人	3.9%
90歳以上	2,340人	1.6%	6,613人	3.9%	8,953人	2.9%

（令和7年4月1日現在）

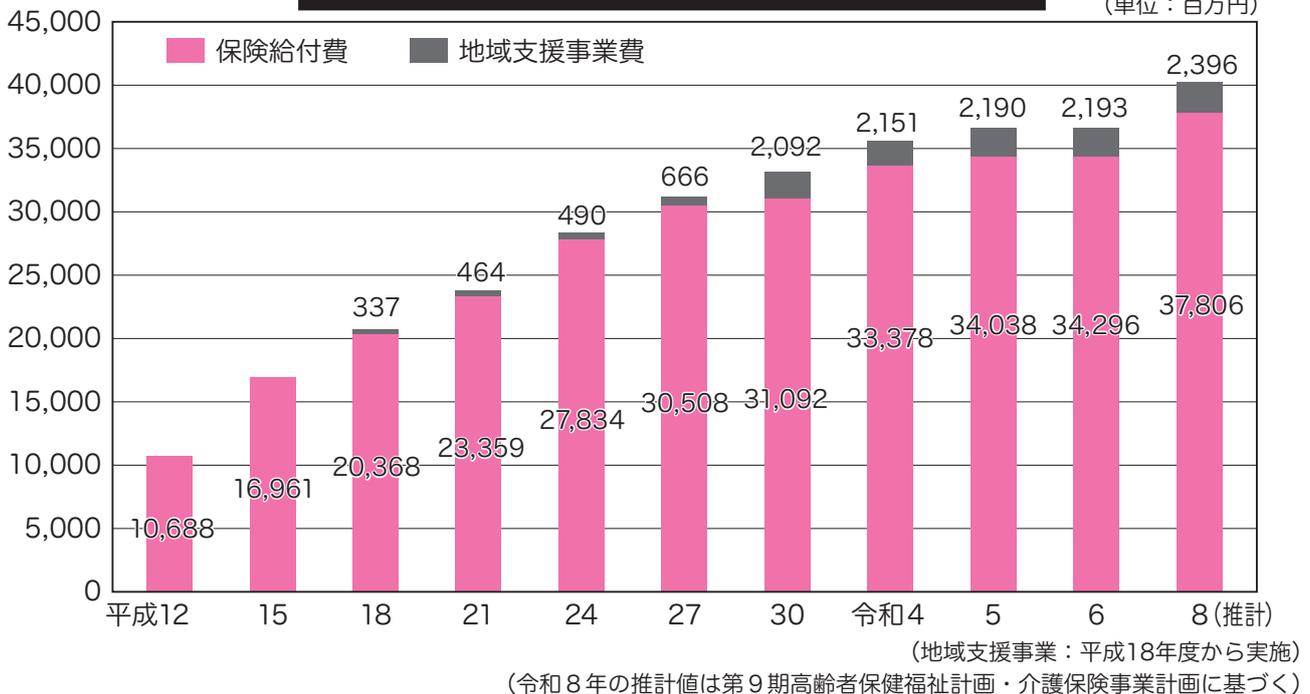
## 旭川市の65歳以上人口と要介護認定者数の推移



平成12年の介護保険制度開始時には、旭川市の高齢化率は17.7%でしたが、令和7年4月1日現在では35.6%と状況は大きく変わっています。また、介護保険制度開始時と比べ、令和7年4月1日時点での本市の高齢者数は約1.7倍、要介護等認定者数で約2.9倍となっています。

## 旭川市の介護給付費の推移

(単位：百万円)



旭川市の令和6年度(見込)の介護保険給付費は、平成12年度の介護保険制度開始時と比べて、約3.2倍に増加しています。

高齢者のさらなる増加が見込まれる中、旭川市では医療保険情報との照合や、介護サービスの不適切な請求の有無について点検を行うなど、必要以上の介護給付の抑制を図るとともに、65歳以上の方に対し介護予防のための事業(8ページ)を実施することにより、持続可能な介護保険の運営に努めています。